

2024年度日本家族社会学会大会ニュース No.1

編集・発行：日本家族社会学会研究活動委員会
委員長 木戸功（聖心女子大学）

Email : pxk11112@me.com

日本家族社会学会第34回大会の概要と報告募集のご案内

今年度の「大会ニュース No.1」をお届けします。日本家族社会学会第34回大会は、本年9月7日（土）、8日（日）の両日、法政大学市ヶ谷キャンパス（大会実行委員長：コーディネーター）にて対面での開催を予定しています。

このニュースでは、大会の基本的な構成と、自由報告ならびにテーマセッション・特別セッション等の応募と締め切りのスケジュールなどをお知らせします。今後、セッションの企画に応募された方、ならびに自由報告を申し込まれた方との連絡は、研究活動委員会が個別に行います。大会についての会員全員へのお知らせは、今後、学会ホームページやメールマガジン、「大会ニュース No.2」で行います。

1. 大会の構成

- 現時点では、以下の構成を予定しています。ただし報告のエントリー数などによって変更する可能性があります。プログラムは7月発行予定の「大会ニュース No.2」でご確認いただけるように準備します。

第1日目 9月7日（土）

10:00-12:30 自由報告(1) テーマセッション・特別セッション
12:30-14:00 昼食・委員会等
14:00-16:30 自由報告(2) テーマセッション・特別セッション
16:45-17:45 総会
18:00-19:00 交流会

第2日目 9月8日（日）

10:00-12:30 自由報告(3) テーマセッション・特別セッション
12:30-13:30 昼食・委員会等
13:30-16:00 シンポジウム

- 別途、別刷交換コーナー、書籍販売コーナー、大会報告レジュメコーナー等を設置予定です。
- 会場までのアクセスなどについては「大会ニュース No.2」でご案内します。

2. 大会シンポジウム「研究法の活用という観点から考える新時代の家族研究（仮）」

家族社会学が社会学的方法を用いて家族を対象とした研究を行う学問であることはいうまでもありません。しかし、社会学のなかにも、歴史があるものから相対的に新しく出現したものまで、さまざまな研究法のレパートリーがあるなかで、日本の家族社会学研究で頻繁に活用されている方法もあれば、どういうわけかあまり活用されていない方法もあるように思います。そして、このことは日本の家族社会学のありかたを特徴づけていると同時に、ともすれば、その可能性を狭めてしまっているようにも思われます。

そこで今回のシンポジウムでは、日本の家族社会学研究ではあまりこれまで活用されてこなかった3つの研究法を取り上げて、それぞれの方法を用いて家族に関する社会学的研究を実践してこられた報告者のかたに研究成果をシェアしていただきます。そのうえで、討論者も交えて、それらの研究法の家族社会学研究にとっての意義、ひいては、研究法という観点からみた家族社会学の現状やこれからについて議論できればと考えております。

具体的には、『不倫——実証分析が示す全貌』（2023年、中公新書）などで実験を活用されている五十嵐彰会員（大阪大学）、『総中流の始まり——団地と生活時間の戦後史』（渡邊大輔・相澤真一・森直人編、2019年、青弓社）に代表されるように、計量歴史社会学的研究を展開してこられた渡邊大輔先生（成蹊大学）、『和みを紡ぐ——子育てひろばの会話分析』（2018年、勁草書房）にみられるように、フィールドワークを通じて収集した相互行為の録画データをエスノメソドロジー・会話分析の立場から分析する研究を続けてこられた戸江哲理会員（神戸女学院大学）を報告者にお迎えする予定です。さらに、『私たちはなぜ家を買うのか——後期近代における福祉国家の再編とハウジング』（2023年、勁草書房）など、マクロな社会や政策の動向と計量社会学的分析とをリンクする研究を發表し、またデータアーカイブ・公的統計に携わってきた村上あかね会員（桃山学院大学）に討論者をお願いしています。

3. ポスターセッションについて

事前のエントリーが5件以上あった場合、ポスターセッションを実施します。エントリーが5件に満たなかった場合は、自由報告は口頭報告のみとなります。

4. テーマセッションおよび特別セッション（国際セッション、ラウンドテーブル、書評ラウンジ）について

さまざまな企画が可能です。積極的にご提案ください。企画全体や一部の報告を英語で行うことも可能です。

(1) テーマセッション

テーマセッションは「企画全体提案型」のみとなります。一定のテーマに基づいて関連発表を組織し、司会者、報告者、ならびに討論者の有無を事前に企画した上で提案してください。

(2) 国際セッション

海外の研究者を交えて運営される企画をお持ちの方は、「国際セッション希望」と明記し

てください。このセッションで報告なさる会員外の方の資料の印刷や通訳などに対して、研究活動委員会に若干の補助金枠があります。どのような資金援助を希望するか明記してください。予算は限られていますので補助がない場合の運営方法も考えておいてください。

(3) ラウンドテーブル

定まったパターンはなく、比較的少人数で、話題提供者の問題提起を中心に、自由にアイデアを交換しあうことが目的です。話題提供者の方が申し込んでください。

(4) 書評ラウンジ

書評の対象とする著書や論文をあらかじめ決めた上で、報告者や討論者などを選定して申し込んでください。当日の運営は自主的に行ってください。

5. 申し込み要領と締め切りについて

(1) テーマセッションおよび特別セッション（国際セッション・ラウンドテーブル・書評セッション）

- 企画案の受け付け開始は 3月29日（金）、締め切りは 4月12日（金）正午です。申し込みの受け付け窓口は、「日本家族社会学会ヘルプデスク（jsfs-desk@conf.bunken.co.jp）」です。企画題目と趣旨（800字程度）、オーガナイザー（テーマセッションおよび国際セッションの場合は、司会者、報告者、討論者を含む）を明記してください。指定の Excel ファイルを大会ホームページよりダウンロードし、申し込み内容を記入の上、提出してください。
- 後日、研究活動委員会から企画案の採択結果をお知らせします。企画が採択されたら、テーマセッションの報告者の方は各自、オーガナイザーと調整の上、要旨原稿を提出してください。国際セッションは、オーガナイザーが責任をもって報告者全員の要旨原稿をとりまとめた上で提出してください。締め切りは いずれも、5月16日（木）です。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして提出してください。国際セッションのみ、メール添付にて大会ヘルプデスクにお送りください。

(2) 自由報告（ポスターセッション）

- 事前の受け付け開始は 3月29日（金）、締め切りは 4月12日（金）正午です。申し込みの受け付け窓口は、「日本家族社会学会ヘルプデスク（jsfs-desk@conf.bunken.co.jp）」です。指定の Excel ファイルを大会ホームページよりダウンロードし、申し込み内容を記入の上、提出してください。
- ポスターセッション実施の可否について後日お知らせします。エントリーが 5 件に満たなかった場合ポスターセッションは実施しません。ポスターセッションを実施する場合、要旨原稿を提出してください。締め切りは 5月16日（木）です。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして提出してください。

(3) 自由報告（口頭報告）

- 報告申し込み・要旨原稿提出ともに受け付け開始は 4月12日（金）、締め切りは 5月16日（木） です。報告題目に必ず要旨原稿を添えて申し込んでください。
- 連名報告は認められていますが、口頭報告では1報告あたりの発表者は1名です。
- 日本語以外に、英語での報告も受け付けます。
- 要旨原稿は、大会ホームページのテンプレートのフォーマットを順守して作成してください。日本語と英語で異なります。ご注意ください。また、連名報告の場合のみ、口頭発表者の前に○を入れてください。
- 提出先は、大会ホームページより、マイページと同じ会員番号とパスワードでログインして申し込んでください。

6. その他の特記事項

- 報告者の資格要件
報告は、本学会会員でありかつ定められた会費を納入していることを資格要件とします。現会員の方は、前年度（2023年度）までの未納会費がないよう注意してください。新入会員については、5月7日（火）までに入会手続きを行い、その後会費を納入してください。会費納入期日はいずれも 5月13日（月） です。ただし、国際セッションの報告については、会員以外の報告を認めます。
- 大会要旨集（PDF）に広告掲載をご希望の方は木戸までメール（pxk11112@me.com）にてお問い合わせください。

7. 今後の予定について

7月中旬には「大会ニュース No.2」（大会プログラム）を公開します。大会に関する情報は、学会のホームページやメールマガジンで逐次お知らせしますので、ご覧ください。

（研究活動委員長 木戸功）

8. 大会実行委員会から

日本家族社会学会第34回大会は、2024年9月7日、8日に法政大学の市ヶ谷キャンパスにて開催する予定です。コロナの制限が解除され、大学にはコロナ前の日常が戻っていますので、2024年の大会は対面で開催するべく、準備を進めています。まずは、大会会場として、キャンパス内の3校舎を確保することができました。自由報告、総会、託児サービスは、市ヶ谷キャンパスでもっとも新しい大内山校舎の4、5階の教室（2019年3月竣工）、シンポジウムはその次に新しい富士見ゲートの大教室で行う予定です。「茶話会」の会場には、私の所属学部の卒業式後の懇親会会場や普段の課外スタディースペースになっている外濠校舎の6階を押さえていますが、外濠公園の見えるスペースを利用できないか現在交渉中です。外濠校舎の1階にはポスターセッションに最適なスペースも用意しますので、ポスター報告もご検討ください。3つの校舎を使うこととなりますが、富士見ゲートと大内山校舎は隣接しており、両校舎から外濠校舎へも5分以内で行くことができます。

ので、移動は比較的楽だと思います。今回は一番高いボワソナード・タワーは使いませんが、ぜひ 26 階に登って（エレベーターがあります！）東京の街を俯瞰してください。9 月の朝なら、富士山が見えるかもしれません。夜景も綺麗です。

上記で触れたとおり、今年も懇親会ではなく、去年の神戸大学で大変好評だった「茶話会」を開催する予定です。お菓子の豊富さは神戸に及ばないかもしれませんが、昨年にかけて、楽しい交流ができる場にしたいと思っています。その後は、市ヶ谷駅、飯田橋駅、神楽坂方面に多数のお店がありますので、場所を移して対面の学会ならではの交流を続けてください。キャンパスは JR・地下鉄の市ヶ谷駅からも飯田橋駅からも徒歩 10 分ほどです。万が一道に迷ったら、「HOSEI」と書かれた高い建物（ボワソナード・タワーです！）に向かって歩いてください。

良い大会になるよう、今後も準備を進めてきますので、皆様も可能な限り予定を空けて、ぜひ、この大会にご参加ください。

（第 34 回大会実行委員会委員長 コーダイアナ）